

シラバス

指定番号

商号又は名称：社会福祉法人大阪キリスト教女子青年福祉会

科目番号・科目名	(5) 介護におけるコミュニケーション技術			
指導目標	高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを図ることが専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限の取るべき（取るべきでない）行動例を理解できるように指導する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護におけるコミュニケーション	3	1.5	1.5	<p>〈講義内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの意義、目的 対人援助関係におけるコミュニケーションの意義と目的を理解する。 ・コミュニケーションの役割、技法 介護におけるコミュニケーションの役割と技法について理解する。 ・利用者・家族とのコミュニケーションの実際 ・利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際 <p>〈演習〉 ・事例をとおして、言語的コミュニケーション・非言語的コミュニケーションを活用させた、利用者や家族の状況・状態に応じたコミュニケーションのあり方を学ぶ。</p> <p>〈通信学習課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション技法。言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション。
② 介護におけるチームのコミュニケーション	3	1.5	1.5	<p>〈講義内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録における情報の共有化 介護における記録の意義と目的を理解し、書き方の留意点などについて学ぶ。 ・報告・連絡・相談 チームコミュニケーションに必要な報告・連絡・相談の意義と目的を理解し、具体的な方法について学ぶ。 ・コミュニケーションを促す環境 会議の意義と目的を理解し、具体的な進め方について学ぶ。 <p>〈通信学習課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録の目的。経過記録の留意点。記録のポイント。報告・連絡・相談の留意点。会議の目的。
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。